

ファインフォーム[®] 707

FINEFOAM 707

エアミルク・エアモルタル・気泡コンクリート用起泡剤

ファインフォーム707は、起泡効果ならびに連行した気泡の安定性に優れた起泡剤で、気泡の安定性が得られにくいセメントミルクの場合でも、ファインフォーム707を適量用いますと微細で安定したエアミルクが作れます。

また、その他の特殊材料等を使用した場合でも、優れたエアミルク、エアモルタル、気泡コンクリートを経済的に製造することができます。

特長

1. 気泡の連行および安定性が比較的得にくいエアミルク、あるいはその他特殊材料等を使用した場合でも、優れた性能を発揮します。
2. プラスチシティーを改善し、材料分離を抑制します。
3. ブリーディングを低減し、あわせて沈下を抑制します。
4. 空気を連行しにくい海水で希釈した場合、または海水を練混ぜ水に用いた場合でも、優れた気泡の安定性と流動性が得られます。
5. 肌面がきれいで、かつ軽量・断熱・保冷・吸音などの特性に優れた硬化体が得られます。

用途

- トンネルの坑口、道路の拡幅等の各種軽量盛土
- トンネルの裏込め・傾斜地盤土・軟弱地盤対策等
- 廃止管等の各種空洞の充填
- きれいな肌面が要求される断熱材・ALC板等
- 屋上スラブ・防水押さえと嵩上げ
- デッキプレート防水下地、土間打ち
- その他 エアミルク・エアモルタル・気泡コンクリート工事全般

主成分および物性

主成分	外観	密度 (g/cm ³ 、20℃)	pH
アルキルエーテル系化合物の複合体	暗褐色液体	1.010~1.030	5~8

※原料として塩化物イオンは含んでおりません。

使用量

■ プレフォーム方式の場合

ファインフォーム707の使用量は、目標空気量から決定してください。(配合例参照)

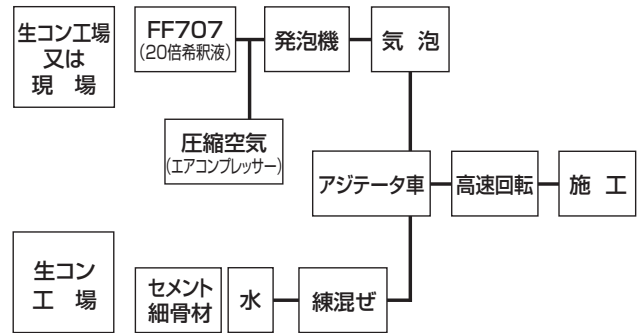
■ ミックスフォーム方式の場合

ファインフォーム707の標準的な使用量の範囲は、セメント質量に対して0.1%~2.0%ですが、使用材料、温度、配合、及び練混ぜ方法等の条件によって変わりますので、試し練りにより定めてください。ただし、連行できる空気量の上限はモルタルで30%程度です。

使用方法例

■ プレフォーム方式の場合

1. ファインフォーム707は通常20倍に希釈してご使用ください。
2. 発泡倍率(泡の容積/希釈液の容積)は、通常25倍程度になるよう、空気量、希釈液量を調整してください。
3. 発泡させた気泡とモルタルやコンクリートとの混合は、連続練りミキサを用いるか、アジテータ車に直接投入し、よく混合してからポンプ車等で打設してください。
4. 発泡機、その他詳細は当社セールスマンに相談してください。



配合例 (プレフォーム方式)

目標 圧縮強度 (N/mm ²)	砂セメント比 S/C	空気量 (%)	水セメント比 W/C (%)	単位量 (kg/m ³)						単位容積 質量 (g/cm ³)	圧縮強度 (N/mm ²)
				セメント C	砂 S	起泡剤 ①	希釈水 ②	混練ぜ水 ③	水量 W ①+②+③		
1.0	0	65	84	300	0	1.38	25.71	224.91	252	552	1.26
1.5		60	74	375	0	1.28	23.84	252.88	278	653	1.69
2.0		55	67	450	0	1.17	21.79	279.04	302	752	2.12
1.5	1	55	79	300	300	1.17	21.79	214.04	237	837	1.64
1.5	2	45	90	275	550	0.96	17.88	229.16	248	1073	1.62
1.0	3	47	104	210	630	1.00	18.63	198.37	218	1058	1.19
1.5		42	83	250	750	0.89	16.58	190.53	208	1208	1.67
2.0		38	73	280	840	0.81	15.09	188.10	204	1324	2.28
1.0	4	44	93	200	800	0.94	17.51	167.55	186	1186	1.20

使用材料/セメント: 高炉セメントB種 (密度3.04g/cm³)

砂: 陸砂 (密度2.59g/cm³)

起泡剤: ファインフォーム707 (密度1.02g/cm³, 希釈倍率20倍、発泡倍率25倍)

使用及び取扱上の注意事項

1. ファインフォーム707は、他の混和剤や雨水・異物等の混入がないように、また凍結しないように(凍結温度: -3℃)保管してください。
2. 凍結した場合には、暖めながら静かにかくはんし、融解させてからご使用ください。
3. 取扱いに当たっては、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
4. 吸入した場合は、鼻をかみ、良くうがいをし、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
5. 目に入った場合は、速やかに、清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
6. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
7. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ専門医の診察を受けてください。
8. 使用および取扱いの前に、当社の製品安全データシート (MSDS) をお読みください。

荷姿

20kgポリ内装箱 / 200kgドラム缶



The Chemical Company

※本商品についてのお問い合わせは、本社混和剤営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポズリス株式会社

本社 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー 21階
混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(社本金沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolithe.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●万が一、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポズリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

